広報誌

JA きたそらち

2025 9月号 No.294

～農業振興を通じて地域社会へ貢献～

7月29日、深川市道の駅「ライスランドふかがわ」で小学生を対象としたイベント「フラワーウォール」を開催しました♪

➡記事の詳細は６ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を発信中です！ぜひ、ご覧ください！

ホームページ

YouTube

Facebook

Instagram

JA_HITASORACHI

～ 今月のヘッドライン ～

- 北竜町　メロン・すいか祭り　開催 …… 3
- 北海道米生産者交流会 …… 4
- 青年部
  十勝管内で きたそらち産「えみまる」をPR ・・・ 8
- 未来への種まき！
  食農教育事業「イペ・トイ・レシカ」 …… 10

JAきたそらち

深川支所

ふかがわ夏まつり
～スローフードフェスタinふかがわ～

7月26日、『2025ふかがわ夏まつり』が石狩川河川敷特設会場にて開催され、関係農業団体で構成する深川市農業対策協議会（辻本吉和本部長）が主催する「第20回スローフードフェスタinふかがわ」が行われた。

同イベントは「新鮮で安全・安心な信頼できる農畜産物を地元に提供し、消費者との絆を深めて地産地消を進める」がコンセプトとしてかかげられ、毎年ふかがわ夏祭りと同時開催されている。

開会にあたり辻本本部長は、「深川には米や野菜をはじめ多種多彩な農産物がある。それらの農産物をみなさまに食べていただき、生産者との触れ合いを楽しんでいただきたい」と挨拶した。

会場内は大勢の来場客で賑わい、メインステージでの「○×クイズ」や「こめっちジャンケン大会」、さらに各出店ブースでは、今年もふかがわまい生産組合による「ふかがわ米すくいどり」やJA青果部による「青果物即売会」などで盛り上がりを見せた。なかでも、JA女性部による深川産野菜を使用した「夏野菜キーマカレー」は無料で提供され、約1時間で完売した。この反響からも消費者との絆が深まっていることがうかがえた。

他にもステージイベントとして行われたバンドステージでは、JA職員有志によるバンド「Thee Show Chick Bites（ショウチクバイ）」などが会場を盛り上げ、また「清水アキラ 清水良太郎親子ものまねショー」にも大勢の来場客が詰め寄せた。

道北最大級と謳われる花火大会では、開始直前に奇跡的に雨が上がり、深川の夏の夜空に大輪の花が咲き乱れた。

【営農企画課　坪】

雨竜支所

2025うりゅう特産品フェア、大成功！
地域の魅力が輝く1日

8月2日、雨竜町道の駅「田園の里うりゅう」に隣接する雨竜野菜集出荷施設で「2025うりゅう特産品フェア」が開催された。

同フェアは、雨竜町の特産品を出荷最盛期に提供し、地域を盛り上げることを目的として毎年この時期に開催されており、地元の生産者やJA職員による案内のもと、来場客は雨竜町が誇る暑寒メロン、マダーボール、スイートコーン、そして新鮮な花きを楽しんだ。

目玉商品の暑寒メロンは、開場前から130人を超える列ができるほどの人気を見せ、例年以上の注目を集めた。また甘くてジューシーなマダーボールとスイートコーンも開場直後に完売するほどの人気ぶり。45束準備された花きも多くの来場客が購入するなど、会場にはたくさんの笑顔が広がり大盛況の様子だった。

来場客からは「毎年楽しみにしているイベント。今年も無事に暑寒メロンが買えてよかった！並んだ甲斐があったから、みんなで早く食べたいです」といった感想が寄せられた。

【雨竜支所　佐野】

北竜支所

北竜町 ひまわりメロン・すいか祭り 開催！

毎年8月恒例の「北竜町 メロン・すいか祭り」が、今年も北竜野菜集出荷施設で開催された。今年はメロン直売会を8月2日、すいか直売会を同14日と開催日を分けて実施した。

町の特産品である「ひまわりメロン」や「ひまわりすいか」が特価で販売されるとあって、両日ともに早朝から多くの来場客が訪れた。販売会場では、規格ごとに分けられた販売ブースに生産者らが立ち、来場客は甘さや食べごろなどを聞きながら、好みにあった商品をお中元やお土産用として購入していた。

2日はメロン約850ケース、14日はすいか約450ケースを準備。どちらも好調な売れ行きで、人気の高い5玉サイズは開場から10分ほどで完売するなど今年も大盛況であった。

【営農企画課　坪】

8月2日 ひまわりメロン直売会

8月14日 ひまわりすいか直売会

JA YOUTH 青年部だより

北海道米生産者交流会 岩見沢市で開催

～青年部 吉田翔吾さんが マツコ・デラックス氏らとトークセッション～

８月８日、岩見沢市民会館「まなみーる」でホクレン主催の「北海道米生産者交流会」が開催された。本交流会は生産者とJAグループとの関係強化や、米の継続的な出荷に対する理解醸成を目的としている。道内から約800人の米生産者や関係団体が参加し、きたそらち青年部からは８名が参加した。

本交流会の第一部では、ホクレン米穀課による米の情勢や取り組みに係るプレゼンテーション、生活協同組合（CO・OP）、㈱ニチレイフーズによる基調講演が行われた。

第二部では、当日急遽リモート出演となった北海道米イメージキャラクターのマツコ・デラックス氏と、マツコ氏の代役となったホクレンアンバサダーの森崎博之氏（TEAM NACS）をゲストに「未来に繋げる、北海道米LOVERS」と題し、様々な地域の若手農業者５人が、就農のきっかけや農業に対する考えを中心としたトークセッションを実施した。当青年部からは深川支部の吉田翔吾さん（納内地区）がステージに登壇し、吉田さんは青年部活動と家庭の両立についてゲストとトークを繰り広げた。

交流会の締めくくりには、森崎氏が「最近、農業に関するニュースで暗い側面ばかり取り上げられているが、生産者は日々の営農に一生懸命取り組んでいることをより多くの人に知ってもらいたい」と述べ、またマツコ氏は「今後も美味しいお米を作っていただくうえで、北海道が日本の食を支える重要な立場になると思う。生産者の方々には今後も頑張っていただきたい」と生産者へエールを送った。

【営農企画課　河端】

組合員の集い　納内・メム地区で開催

８月中旬、「組合員の集い」が納内地区とメム地区で開催された。

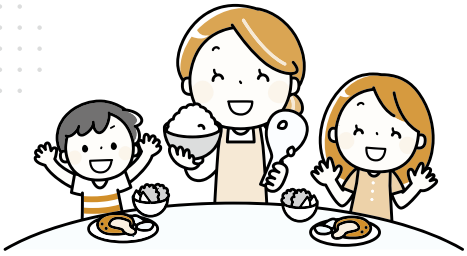
抽選会や盆踊りなど、会場は終始賑やかな雰囲気に包まれ、参加した組合員は忙しい農作業の合間に家族や仲間と楽しいひとときを過ごした。

【営農企画課　河端】

深川支所 納内地区 8/10

深川支所 メム地区 8/11

深川子ども未来食堂へ
深川産ゆめぴりかを寄贈



当JAでは、「深川子ども未来食堂」を支援するため深川産「ゆめぴりか」を寄贈している。

深川子ども未来食堂は、昨年12月に深川市社会福祉協議会（三ツ井隆博会長）が開設し、市民有志の会「ふかがわ子ども食堂·朝活キラリ」が運営している。主に子どもたちの健康促進や食育の推進などを目的として毎月第1・3土曜日に開催し、地元産の食材を中心とした朝食を提供している。また提供する食事の一部は市内企業や団体等から寄贈される食材でまかなわれている。今回は当JAの組合員で同協議会の理事を務める五十嵐幸男氏（一已地区）による提案で、この寄贈が実現した。

8月1日には、寄贈セレモニーが同協議会事務所で行われ、当JA岩田清正組合長が同協議会の三ツ井会長に「ゆめぴりか5kg」を2袋手渡した。

三ツ井会長は、「昨今、野菜を含め様々な物が値上がりするなか、皆さんの応援のもとに子ども食堂は運営されている。加えて今回は、JAきたそらちよりお米をいただくことで安定的な運営ができる。皆さんの応援、ご厚意を頂きながら、この子ども食堂を運営して参りたい」とお礼を述べた。同席した五十嵐氏も「物価高の中、このお米の提供を受けて食堂の運営が続いていくことを願っている」と話した。

当JAが寄贈予定の米の総量は今回寄贈したものも合わせて年間60㎏としており、今年8月から来年の6月まで2か月毎に5㎏×2袋を定期的に寄贈する。

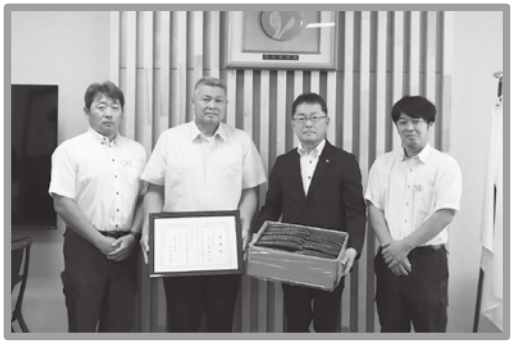
【営農企画課　坪】

青果部　学校給食にきゅうりを贈呈

8月4日、きたそらち胡瓜生産組合（川村正人組合長）が北空知圏学校給食組合（組合長・田中昌幸 深川市長）へ深川市産のきゅうりを贈呈した。

同生産組合による学校給食へのきゅうり贈呈は今年で3回目。この日、贈呈を行った同生産組合の川村組合長は「地元で採れた美味しいきゅうりを子ども達に食べてもらいたい」と話した。

田中市長は、「JAきたそらちが販売する青果物において、きゅうりが主力作物と聞いている。これからも美味しいきゅうりの生産をお願いしたい」と述べ、川村組合長へ感謝状を手渡した。



贈呈したきゅうりは、8月には約45kg、9月には約305kgの計350㎏が北空知管内の小中学校16校の学校給食の食材として使用される予定。

【営農企画課　坪】

農業×福祉×子ども『SDGsフラワーウォール』

7月29日、当JAが道の駅ライスランドふかがわで近郊の小学生を対象とした花育イベント「フラワーウォール」を開催した。フラワーウォールとは「花の壁」という意味で、花きに興味がある小学生12名が高さ2.2m×幅2.7mのパネルに北空知産スターチスを飾った。

イベントで使用した花材の一部には、北育ち元気村花き生産組合シヌアータ部会及びHBスターチス部会員から提供いただいた花きも活用。パネルを彩る約4,000本のシヌアータは、子どもたちが飾りやすいように長さ20cmの花きを3～4本の束にする作業を近郊の障がい者施設へ農福連携として委託し約1,000束作られた。

またフラワーウォールの他にも、シネンシスを使ったプランターへの飾り付けも行い、市内生花店の花パレット職員が丁寧にアレンジメントのアドバイスをして完成した。

参加した子供たちからは「大きなパネルに飾りつけするのが面白かった」「お花が大好きなのでまたやってみたい」と笑顔で話した。

【営農企画課　高桑】

農業振興部

お米クイズ・ライスレジンをPR 親子で学ぶ!夏休み子ども体験デー in札幌

8月7日、「夏休みこども体験デー」が札幌市中央区民センターで開催され、約120名の親子が参加。当JAもお米にスポットを当てた出展を行った。

このイベントは、北海道の農林水産業等に関する体験を通して、親子のふれあいを深め、夏休みに広く社会を知ってもらおうと農林水産省 北海道農政事務所らが主催し、当JAおよび近畿大学バイオコークス研究所が協賛として名を連ねた。

当JAの出展は、水稲の生育を学び理解を深めるとともに、環境に関心を持ってもらえる機会作りを目的とし、「お米ってどんな風にできるの?お米クイズ」を実施。参加した子どもたちには、JAきたそらちオリジナルのデジタル紙芝居「お米ができるまで」の視聴後に6問のクイズに回答してもらい、イベント参加特典として「えみまる」300g、全問正解者にはさらにライスレジン製のお茶碗をプレゼントした。子どもたちは配布したライスレジンに対し「本当にお米でできているの?」「お米の匂いがする」と興味津々な様子だった。

他のコーナーでは、北海道森林管理局による「木のコースターづくり」やおがくず粘土で遊ぶ「もくねんさん」、北海道漁業調整事務所による貝がらおえかきや缶バッチ釣りなどの「ぼくの夏休み・わたしの夏休み」なども実施された。

【営農企画課　坪】

岩石と場の特性を活用した風化促進技術“A-ERW”に関する視察受入

８月６日、岩石と場の特性を活用した風化促進技術「A－ERW」開発プロジェクト（以下PJ）が雨竜町の同試験圃場を視察した。PJリーダーである早稲田大学の中垣隆雄教授の他、早稲田大学と北海道大学の研究関係者及び学生、玄武岩粉砕を請負う企業や環境コンサルタントなどPJ関係者総勢25名に加え、圃場を提供している岩田清正組合長の他、白川久純雨竜町長をはじめ自治体関係者や雨竜地区生産者など15名が参加し、北海道大学農学部の当真要教授から説明を受けた。本PJはNEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）における挑戦的な研究開発に位置付けられ、両大学の他、三菱重工など17機関が参画している。農地に岩石を散布して二酸化炭素（CO2）を減らす技術「ERW」は海外を中心に展開されており、その水田における基礎データ収集目的の実証試験を同圃場にて前年より継続実施している。

２年目となる本年は、昨年と同様に施用区と無施用区を設けて５月上旬に散布を行い、それぞれ温室効果の原因となるメタンガスの他、昨年度は実施しなかったCO2の吸収量なども比較調査している。また稲刈り後には玄武岩がコメの収量や品質に及ぼす効果を調査する予定。北海道大学の実験を主導する佐藤努教授は挨拶の中で「本技術に関心を寄せる方がますます増えており、特に地元雨竜町のご支援に感謝申し上げたい」と述べた。

近年全国的に過去に例のない高温の日が続いており、今年は管内でコメの収穫時期が早まるなどの影響が見られる。国が掲げる2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、実際にCO2を吸収するネガティブエミッション技術の一つとして確立が期待されている。

【振興課　廣田】

農業振興部

女性大学カレッジあみてぃえ５期生 第３講「きたそらち産お花の講習会」

８月７日、JAきたそらち女性大学「カレッジあみてぃえ」５期生の第３講が開催され、受講生13名が参加した。第３講は「きたそらち産お花の講習会」と題し、nagom garden代表の嶋敦子氏を講師に迎え、生け花講習とフラワーアレンジメントの制作を行った。

前半の生け花講習では、嶋氏が制作する「嵯峨御流」という平安時代に始まった流派の生け花を見て学んだ。ドウダンツツジで高さを出しながら、ダリアを中心にトルコキキョウなどの花を添え、空間を意識した挿し方で、夏にぴったりの涼しげな雰囲気の作品が完成すると、受講生たちからは拍手が起こった。

後半のフラワーアレンジメント制作では、スターチスシヌアータ、ダリアなどの北空知産の花をメインに、７種類の花を使用。全員が同じ花材を使用しながらも同じ作品は一つとしてない、個性溢れるアレンジメントが出来上がった。受講生は「最初は花をどう切ろうか悩んだが、手をつけ始めると止まらなくなる楽しさだった。出来上がった作品をみんなで見せ合っていい時間を過ごせてよかった」と話した。

【営農企画課　石野】

青年部だより

JAきたそらち青年部

十勝できたそらち産のお米をＰＲ

８月２日、JAきたそらち青年部（徳重雅也部長）は、ぴあざフクハラ音更店（音更町）と同札内店（幕別町）でJAきたそらち産米のPR活動である「白米販売促進事業」を行った。同事業は例年行われており、今年は青年部の他にも「こめっち」や「2025北海道米アンバサダー」の横倉綾乃氏も販促に参加し、部員4名が2店舗に分かれ、5kg袋の「えみまる」と「無洗米えみまる」を販売し、札内店のみ「ななつぼし」と「無洗米ななつぼし」も同時販売した。また、購入客に対しては白米5kgお買い上げごとに幌加内町産のそば１袋（200g）のプレゼントと青年部自身で作成したファームレターの配布を行った。

青年部は来店客に食味や特徴の説明をしながら店舗協力のもと試食も実施し、２店舗合わせて約50袋販売という結果になった。

徳重部長は「販促に出向いたことで直接消費者の生の声を聞くことができた。農業における情勢は未だ厳しい状況にあるが、青年部としても継続的に販促活動を実施したい」と述べた。

【営農企画課　河端】

女性部だより

JAきたそらち女性部フレッシュミズ

合同交流会開催

７月30日、JAきたそらち女性部フレッシュミズ世代を対象とした合同交流会を開催した。今年度はフレッシュミズ部員以外の方やお子様の参加も呼びかけ、合わせて28名が参加した。

今回は「紙コップ風鈴作り」と題し、親子や友人同士で楽しみながら作品づくりを行った。フレッシュミズが事前に用意したシールやマスキングテープだけでなく、持参したシールなども使って紙コップを飾りつけし、鈴と短冊を結んだ紐を取り付け完成となる。道具や材料も簡単に揃えることができるため、参加した子どもは「簡単に作れて楽しかった。家でも作って夏休みの工作にしたい」と笑顔で話した。

全員の風鈴が完成したあとは、子どもたちにかき氷やトロピカルジュースが振る舞われた。暑い時期での開催ということもあり、子どもたちはおかわりをするなどして楽しんでいた。参加した部員からは「キッズスペースを用意して職員の方もついていてくれたので、大人同士でも交流をする時間があり、楽しむことが出来たのがとても良かった」と話す。

【営農企画課　石野】

第2回　JAきたそらち地域農業応援団

7月25日、地域住民を対象にした交流活動「JAきたそらち地域農業応援団」の第2回が深川市内で開催され、団員16名が参加した。今回はJA施設見学や花き収穫体験、JA農産物直売所での調査活動などを実施した。

午前中のJA施設見学では、「野菜集出荷施設」、「北育ち元気村花き集出荷施設」、「深川マイナリー」、「精米施設」の4か所を見学した。団員からは25年産米の価格動向や音江地区でホクレンが運営する「こめ油施設」との関わり方など質問が寄せられた。

また午後からは、渡邊滋典氏（音江地区）の圃場においてスターチスの収穫体験を行った。渡邊氏は「生活の節目を彩るのは花であり、そして人生の終わりに贈られるのも花である」と人生の中で花がもたらす幸せの効果などご自身の体験談も交えながらお話された。ハウス内では一般的な濃い色ではなく『ニュアンスカラー』と呼ばれるピンクやオレンジなどをベースとした淡く可愛らしい色のスターチスが20種類ほど作付けされており、団員はその中から思い思いに収穫し色とりどりのブーケを作った。その後、道の駅ライスランドふかがわ内の「農産物直売所eciR」へ移動し、店内の品揃えや配置など消費者目線でチェックしながら、新鮮野菜や加工商品を購入した。

参加した団員からは「米産地に住んでいるのに知らない事ばかりだったので勉強になった」「全道1位の花産地をPRするためにも深川駅などに飾ることや、ドライフラワーのリース作り体験ができれば観光の目玉になる」など目を輝かせて話した。

総務部

令和7年度　事業評価委員会　開催

8月6日、JA本所会議室で本年度の「事業評価委員会」が開催された。

事業評価委員会は、第8次農協経営計画における『組合員のJA運営参画』を目指し、協同組合の原点である、組合員の三位一体（出資者・利用者・運営者）」の再構築に向けて、対話をベースとした事業展開を図ることとして開催している。

本年度の委員会には、各地区総代協議会代表・青年部代表・女性部代表の18名の組合員とJA常勤役員・職員15名が参加し、4月に実施した「事業評価アンケート」の集計結果を基に回答内容の深掘りと具体化を図った。

それぞれ5班のグループに分かれ各課題について意見交換を行い、『職員の誰に相談をしたら良いか分からない、もっと交流が必要ではないか』、『労働力確保に向けて、地区内のサポート・手間替えが出来るようJAで調整できないか』、『農業は昔ほど3Kではなく、作物を作る喜びを伝え、新規就農者を増やせられないか』、『JAの部署により忙しさが違う。必要な部署に適正な人員を配置してほしい』など積極的な意見交換が行われた。

委員会の閉会において、JA佐藤常務理事からは、「組合員の皆様はJAの運営に参画する権利を持たれており、非常に重要なことと考えている。改めて皆様から直接ご意見を伺い一つでも多くの事項をJAの経営に反映して、皆様の望まれる組織を作り上げていきたい」と話した。

JAでは毎年度、事業評価アンケートを実施し、その結果に基づく事業評価委員会を開催するとともに、あらゆる場面で組合員との対話活動の強化を図ることとしている。

【総務部　鈴木】

JAきたそらち役職員向け研修会
交通安全講習会　開催

７月18日、当JA役職員を対象に安全運転の促進や事故予防を呼びかけ、交通安全の向上を図ることを目的とした交通安全講習会を実施した。

北海道旭川方面深川警察署から交通課長の上村健太郎氏を講師に迎え、管内の交通事故状況などの報告を受けた後、近年増えているドライブレコーダーを搭載した車が雪道や夜間など様々な状況で起きてしまった交通事故の瞬間映像を視聴し『ヒヤリ・ハット』を疑似的に体感した。

特に業務中の事故は起こした職員のみならず、事業所も交通事故の被害者に対して賠償責任を負わなければならない場合もあるため、役職員一人一人が日常的に運転のマナーやモラル、安全運転意識を高める研修となった。

【人事課　墓田】

総務部

未来への種まき！
食農教育事業「イペ・トイ・レシカ」

８月７日、小学校５・６年生を対象とした食農教育事業『イペ・トイ・レシカ』が開催され、JA職業体験やバーベキュー等が行われた。今年度は入組５年以内の若年層から選抜された８名の職員が５期生として食農教育事業を企画・運営し、小学校６年生２名、５年生９名を対象に実施した。

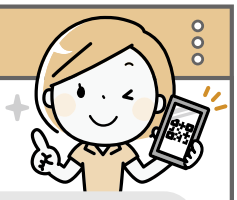
開催にあたり岩田清正組合長は「職業体験ではJAの仕事内容や職員が仕事をする意味を学び、お客様からいただく『ありがとう』や『頑張ってね』の言葉が働く人にどのような力を与えるか体験を通じて感じてください」と挨拶した。

今回は雨天により、予定していた野菜収穫体験を中止とし、代わりにJA本所および青果部の業務説明を実施。その後、農産物直売所eciRと音江給油所の2か所でそれぞれ30分ずつ仕事体験を行った。音江給油所ではJA公用車や職員自家用車への給油作業を体験し、直売所ではレジ打ちや品出し体験を行った。参加した児童らはJA職員のように制服を着用し、作業手順の説明を受けたのち緊張しながら業務にあたっていた。その後、昼食ではふかがわ牛のバーベキューやスイカ割り、マイナリー・精米施設の見学を行うなど盛りだくさんの内容だったが、子ども達は終始楽しそうに参加していた。

児童らは「どの体験も楽しかったし、バーベキューも美味しかった。また参加したい」と感想を話した。

【人事課　墓田】

青年部深川支部・雨竜支部のインスタはこちら！



JA.YOUTH_FUKAGAWA

URYU_SEINENB

青年部での活動、日々の農作業の様子などを青年部員が投稿しています♪
ぜひ、フォローしてチェックしてみてください！

JAきたそらち太陽光発電所　発電実績

○令和７年６月実績

発電電力 **56,881 kWh**

計画対比　6,659kWh
前年対比　△3,058kWh

売電金額　2,275,240円（40円/kwh）

○累計（R6.12～R7.6）

発電電力255,317kWh　計画対比　22,758kWh　前年対比　△57,347kWh

※今月号の健康百貨は休載とさせていただきます

総務部からのお知らせ

農と音楽のまちおこしイベント「農道音楽祭 -nouon-」開催に伴う交通規制について

「農と音楽のまちおこしイベント実行委員会（実行委員長　上島一也氏）」では、深川市の豊かさと音楽を融合させ、深川市の自然、文化、食を通じて、地域住民と訪問者が共に地域の良さを再認識・再発見し、地域に熱と活気を取り戻し、シビックプライド（地域に対する誇りと愛着）を高めることを目的に音楽イベントを開催されます。

つきましては、下記の期間において交通規制が行われますので、ご注意願います。

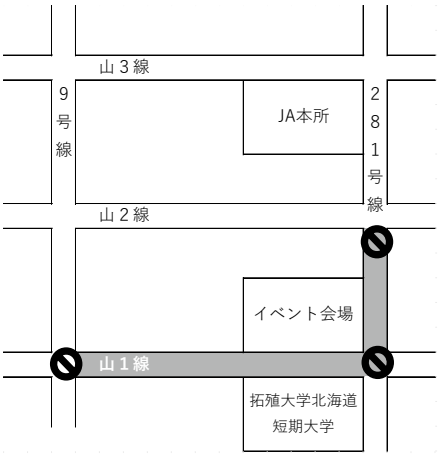
1．イベント概要

名称：農道音楽祭 -nouon-
日時：令和７年 10 月４日（土）
10:00 ～ 20:00　※時間は予定
場所：拓殖大学北海道短期大学敷地内
特設会場

2．規制内容

交通規制日時（予定）➡
10 月４日（土）７：30 ～ 21：00
規制内容➡車両通行止め

※　拓殖短期大学の山１線（９号線と山１線の交差点から道道２８１号線と山１線の交差点まで）及び道道２８１号線（山１線との交差点から山２線の交差点まで）



令和７年度 ホクレン南北海道市場和牛・交雑素牛販売情報

開催日
7/9 ～ 7/10
市場成績

品種	性別	区分	市場全体		きたそらち農協	
			本年７月実績	前年同月実績	本年７月実績	前年同月実績
和牛	去勢	出場頭数	818	882	28	32
		平均価格	775,633	601,257	745,289	536,977
	めす	出場頭数	694	697	55	76
		平均価格	643,286	486,798	629,968	463,597
交雑	去勢	出場頭数	79	70	4	7
		平均価格	361,468	338,093	333,025	323,086
	めす	出場頭数	296	293	118	94
		平均価格	365,107	305,184	362,636	313,886

【平均価格は円・税込価格】

JA北海道厚生連からのお知らせ

配置薬
新商品&おすすめ商品のご紹介

みなさんの健康と美容のことは気にしていますか?
新しいお取り扱い商品とおすすめ商品を是非この機会にお試しください。

暑い季節の塩分補給と熱中症対策に

ほどよい塩味とさわやかな
レモン風味のスティックゼリー
夏の塩分補給におすすめです

新商品 健康食品

塩レモンゼリー

15g×60本 4,860円(税込)

販売者／佐藤薬品ヘルスケア株式会社

7つの保湿成分と3つの温泉成分でお肌しっとり

コラーゲン・ヒアルロン酸等
7つの保湿成分を配合し、
にごり湯タイプで3つの温泉成分

新商品 医薬部外品

草荀譜Ⅳ

1,100g 3,740円(税込)

販売者／富山めぐみ製薬株式会社

発熱や頭痛などのつらい症状に小さなお子様から大人まで

発熱や頭痛などのつらい症状に効果をあらわす
アセトアミノフェンの錠剤で胃にやさしく、
眠くなる成分も未配合

新商品 第2類医薬品

アセトアミノフェンK錠

36錠 1,100円(税込)

販売者／小林薬品工業株式会社

毎日のお手入れでハリのある美しい潤う肌へ

シワ改善、シミ対策(美白)・肌荒れ
防止成分や潤いをキープするヒア
ルロン酸などを配合。着色料や香
料など無添加

おすすめ 医薬部外品

美潤肌(びじゅんき)

60g 5,500円(税込)

販売者:佐藤薬品ヘルスケア株式会社

弱った腸を活発にしてお通じをやさしく改善

腸を正常に保つセンノシド他、
5種類の生薬成分を配合した便秘薬。
フィルムコーティングを施した錠剤

新商品 指定第2類医薬品

ウエストンSプラス

120g 2,178円(税込)

販売者／小林薬品工業株式会社

弱った胃の機能の衰えを助け胃腸を整えます

弱った胃の機能の衰えを助け、改善する
消化酵素剤・健胃生薬・整腸剤などを
配合した胃腸薬

新商品 第3類医薬品

パンクターゼ錠A

150錠 2,090円(税込)

販売者／小林薬品工業株式会社

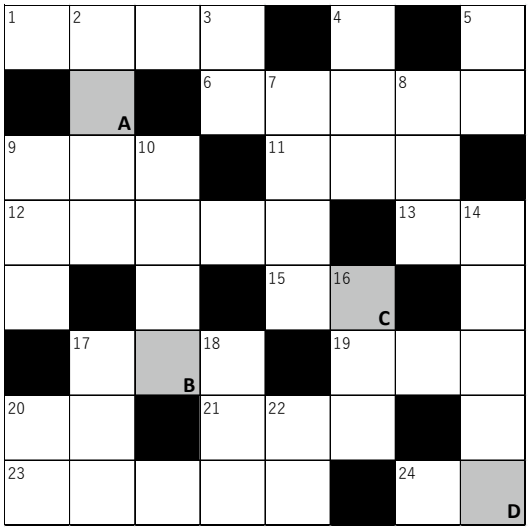
北海道厚生農業協同組合連合会
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地
受付時間 平日 8:30~17:00

0120-99-41-93
(救急の よい ウスリー)

JA配置薬 LINE公式アカウント

クロスワードクイズ

提供元：クロスワード.jp



A	B	C	D

【タテのカギ】

2 礼儀と節度。
3 自分や自分たちに関することを自身の責任で処理すること「地方〇〇体」
4 生体における化学反応の触媒となるたんぱく室を中心とした高分子化合物
5 まっすぐで細長く手に持てるぐらいのもの。
7 切った豆腐を昆布だしの湯で熱した料理。
8 他と比べて特に異なっていること。
9 歌を歌うことを仕事にしている人。歌い手。
10 魚釣りに用いる船。魚釣りをしている船。
14 細かい砂が舞い上がってほこりのように見えるもの。
16 しだいに速度を加えること。
17 よその国。外国。
18 容姿の美しい女性。美人。
20 田舎で、人家が多く集まっている場所。
22 積み重なったもの。かさなり。

【ヨコのカギ】

1 英語で「大学」のこと。
6 ヨーロッパから見て東方の地のうち、極東と近東の中間の地域。
9 仮に立てた考え方によって説明すること。
11 はき物をはいたままのこと。泥のついた足。「〇〇〇厳禁」
12 物体に備わっている固有の量。これが大きいほど、働く重力が大きい。
13 こしかけ。座るもの。
15 卵がかえること。卵をかえすこと。
17 いつでも火がおこせるように用意しておく小さな火。
19 祖父と祖母。
20 結婚して妻の家の一員となった男の人。
21 一時間に進む距離で表す速さ。
23 楽に勝つこと。
24 でんぷん質のものを煮て作った、ねばりけのあるもの。物を貼るのに使う。

7月号の正解は
「キュウリ」でした。
正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市　宮崎　崇　様
深川市　田中　法子　様
雨竜町　千代崎明美　様

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。
締切9月30日消印有効で当選者とクイズの答えは令和7年11月号に掲載します。
【送り先】〒074-0015　深川市深川町字メム10号線山3線5850番地
JAきたそらち農業振興部営農企画課　FAXの場合は 0164-22-1228
【ホームページ応募フォーム】URL:https://www.ja-kitasorachi.com/living/application_form/
※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。

八月俳句

●雨竜俳句会

山離れ街へ移動の夏の熊　北川　満江
遠雷や病を生きる友の呼気　小山　邦男
金魚の尾水をはじいて昼下がり　佐々木待子
カラスの子親の真似して物突く　松木　五月
涼風やシーツゆっくり乾きおり　宮武めぐみ
菩提寺の裏庭で見た栗の花　吉見サヨ子

●「道」俳句会　北竜支部

山袖へ白極まわりて蕎麦の花　山本　玲子
もう妻は転生せしや大花野　山岸　正俊
早焼の猛暑の予感顔洗う　阿部れい子
おもてなしまずは向日葵町の顔　山下　好晴
亡き友の返信待つや秋月夜　佐藤美智子
百熊の寝すがた許す熱帯夜　吉尾　広子

●土筆俳句会

墓参り花挿す器いづこにか　高尾美津子
炎天や静かに唸る室外機　池田　美知
街中の工事続きて残暑かな　南川冨美子
雨だれの滑り台なり額紫陽花　滝口富美子
家の中音でしみじみ遠花火　菅原　優子
朝顔や乗り降りの無き無人駅　森田裕美子
常備するあずきアイスを確かめり　沼田留美子
師の遺句に乗る涼風や鬼ころし　小橋　厚子

第８回理事会〈令和7年7月29日開催〉以下の事項について決議・承認されました

報告事項

1．関係団体等諸会議について
2．組合員の加入脱退について
3．財務報告及び事業実績について
4．固定資産の修繕について
5．令和６年度　連合会・関係団体の概況について
6．令和６年度農協経営分析について
7．カレンダー・手帳等の今後の取扱いについて
8．職員の人事及び業務事故について
9．JAきたそらち職員動向及び人事制度について
10．令和７年度空知管内JA役員研修会について
11．事業評価アンケート結果と今後の取り進めについて
12．農道音楽祭（nouon）開催に向けた協力依頼について
13．貸出金の貸付報告について
14．令和７年度　主要農作物の生育状況（7月15日）について
15．うるち米を巡る情勢について
16．令和７年産　うるち米早期契約締結内容について
17．米在庫状況（6月末）について
18．販売未収金（6月末）について
19．令和７年度　畜産物の販売実績（6月末）について
20．令和７年度　青果・花き集荷販売実績について
21．経済部事業実績について

提出議案

議案第１号　みのり監査法人期中監査Ⅰ経過概要報告について
議案第２号　組合員の出資金持分譲渡について
議案第３号　取引実態並びにマネーローンダリング及びテロ資金供与対策の実施状況等について・共済事業
議案第４号　国債窓販業務の廃止について
議案第５号　貸出金の貸付について
議案第６号　令和7年度　系統外販売取引先の選定について
議案第７号　令和7年度　系統外販売取引先選定について

協議事項

1．JA役員による中核組合員訪問の実施について

組合員の動き
（令和７年７月末日）

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,156	13	23	1,146
	団体	110	3	0	113
准組合員	個人	5,326	40	41	5,325
	団体	261	0	6	255
正組合員戸数		818	1	8	811

8がつ4にち（げつ）バケツ稲レポート

あんなに小さかった稲が、身長くらいに大きくなってビックリ！！おコメがたくさんついてるから、スズメさんが毎日あそびに来るんだ♪

スズメさ～ん、おコメ全部食べないでね！

（左：北光保育園、右：音江中央保育園）

金融共済部からのお知らせ

JA共済

9期連続受賞!!
JAのこども共済「学資応援隊」
ママリ口コミ大賞 2025 学資保険部門 受賞

小さなお子さま、お孫さまがいる方へ
“こども共済”を活用した
安心・確実な資産づくり

被共済者加入年齢6歳の場合　共済掛金総額 1,774,536円

満期時
差額 225,464円
給付率 約112.7%　年平均利回り 0.79%
お受取総額 2,000,000円

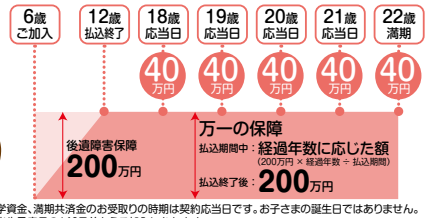
（参考）10年後、やむを得ず解約された場合
10年後
差額 126,886円
給付率 約107.1%　年平均利回り 0.71%
解約返戻金 1,901,422円

ご契約例　こども共済　学資金型〈大学プラン〉全期前納・共済掛金払込免除不担保特則付

- 被共済者加入年齢：6歳
- タイプ：基本型
- 共済金額：200万円
- 共済期間：22歳満期
- 学資金支払開始年齢：18歳
- 共済掛金払込終了年齢：12歳
- 払込方法：年払い（口座振替扱い）

ご契約者の年齢制限なし　健康状態の告知不要

※共済掛金払込免除不担保特則を付加している場合に限ります。共済掛金払込免除の保障はありません。



※学資金、満期共済金のお受取りの時期は契約応当日です。お子さまの誕生日ではありません。出生予定日の140日前からご加入になれます。

●お孫さん、お子さんの年齢別掛金・給付率等一覧（令和7年4月現在）

※ご契約例は上記と同じ
ただし、加入年齢が3歳・6歳の払込終了年齢は12歳、9歳の払込終了年齢は15歳とします。
※給付率 = お受取総額 ÷ 共済掛金総額
※給付率は、お孫さんやお子さまの契約日時点の年齢、学資金支払開始年齢など契約内容によって異なります。
※「年平均利回り」＝（お受取総額（解約返戻金）－共済掛金総額）÷ 共済掛金総額 ÷ 経過期間（年数）× 100（学資金を据え置いた際に発生する利息は計算に含めていません。小数点以下3桁目を切り捨てて表示しています。）
※10年後解約時のお受取総額は、第10共済年度の末日に解約等を行った場合の数値です。実際の金額は解約等を行った時期により変動しますのでご注意ください。

		3歳	6歳	9歳
満期時	共済掛金総額	1,746,813円	1,774,536円	1,844,263円
	お受取総額	2,000,000円	2,000,000円	2,000,000円
	差額	253,187円	225,464円	155,737円
	給付率	114.4%	112.7%	108.4%
	年平均利回り	0.76%	0.79%	0.65%
10年後解約時	共済掛金総額	1,746,813円	1,774,536円	
	解約返戻金	1,827,038円	1,901,422円	
	差額	80,225円	126,866円	
	給付率	104.5%	107.1%	
	年平均利回り	0.45%	0.71%	

●お問い合わせは

JAきたそらち

共済センター	TEL 0164-34-7151		
イチヤン本所	TEL 0164-22-6619	多度志支所	TEL 0164-27-2111
音江支所	TEL 0164-25-1112	雨竜支所	TEL 0125-77-2331
深川支所	TEL 0164-22-2171	北竜支所	TEL 0164-34-2280
納内支所	TEL 0164-24-2212	幌加内支所	TEL 0165-35-2025

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

25019990008

■発行／きたそらち農業協同組合　〒074-0015　北海道深川市深川町字メム10号線山3線5850番地　TEL 0164 (22) 6600　FAX 0164 (22) 8611
https://www.ja-kitasorachi.com　■編集／農業振興部 営農企画課　■印刷／株式会社 須田製版